






DIGITAL PIANO

SCLP-8450 SCLP-8350 リファレンスマニュアル

本書は、取扱説明書の説明を補うものです。楽器本体のメニュー画面について説明しています。取扱説明書を読んでからご覧ください。

目次

メニュー画面での基本操作	2
 音色メニュー	3
ペダル機能一覧	7
 曲メニュー	8
曲ファイルを管理する	10
MIDI曲を編集する	12
 メトロノーム/リズムメニュー	15
楽譜に合わせてメトロノームの拍子を設定する	16
 録音メニュー	17
録音済みのMIDI曲を部分的に録音し直す	17
 システムメニュー	19
2人同時に同じ音域で演奏する(デュオ)	26
電源オフ時にも保持しておきたい設定を選ぶ(バックアップ設定)	27
楽器に保存した曲データや楽器の設定をUSBフラッシュメモリーに保存する(バックアップ)	27
USBフラッシュメモリーに保存したバックアップファイルを楽器に取り込む(リストア)	28
工場出荷時の設定に戻す(ファクトリーリセット/初期化)	28
無線LAN(Wi-Fi)の設定をする	29
索引	31

- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。



- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

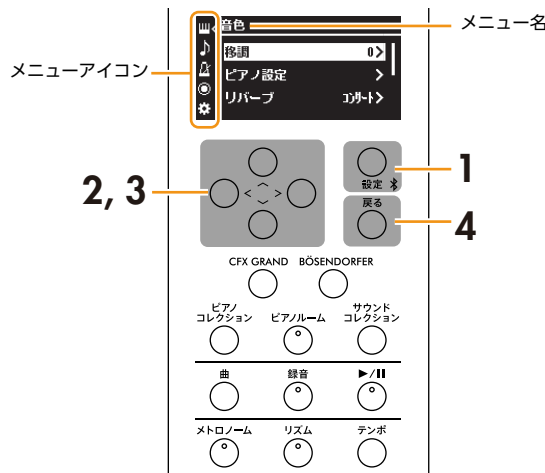
メニュー画面での基本操作

[設定]ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、5つのメニュー（音色、曲、メトロノーム/リズム、録音、システム）から成り、各機能のさまざまな設定ができます。ここではメニュー画面での基本操作を説明します。以下の場合は、メニュー画面を開く前に、必要な準備をしておきます。

- **音色に関する設定をする場合:**
音色を選んでおきます。デュオ時の音色の設定をするにはデュオをオンしておきます。
- **曲に関する設定をする場合:**
曲を選んでおきます。

1. [設定]ボタンをくり返し押ししてメニューを選びます。

ボタンを押すたびに表示されるメニューが切り替わります。選んだメニューは画面上部のメニュー名と左側のアイコンで確認できます。



音色メニュー	3ページ	ペダルの機能、デュオでの音量バランス、移調など鍵盤演奏に関する設定や、音色の編集をします。
曲メニュー	8ページ	くり返し再生や音量、移調など曲再生に関する設定や、曲の編集、曲ファイルの管理をします。
メトロノーム/ リズムメニュー	15ページ	メトロノームやリズムの音量や、メトロノームの拍子、リズム再生に関する設定をします。
録音メニュー	17ページ	MIDI録音に関する設定をします。
システムメニュー	19ページ	チューニング、音響、オートパワーオフ、画面の明るさなど楽器全体に関わる設定や、USBフラッシュメモリのフォーマット、楽器設定のバックアップなどをします。

NOTE

上記のメニュー画面の設定と、ピアノルームの同じ項目の設定は連動します。メニュー画面では、ピアノルームの「タッチ」、「音の高さ」、「ハーフペダルの位置」はシステムメニュー、その他は音色メニューにあります。ピアノルームの設定については取扱説明書をご覧ください。

2. [△]/[▽]/[<]/[>]ボタンを使って、項目を選びます。
3. [<]/[>]ボタンを使って、設定を変更したり機能を実行したりします。
選択中の項目を初期設定に戻すには、[<]ボタンと[>]ボタンを同時に押します。
4. [戻る]ボタンを押してメニュー画面を閉じます。

音色メニュー

音色メニューでは、音色の編集や、鍵盤演奏に関する詳細設定ができます。鍵盤を弾いて音を確認しながら設定しましょう。デュオの音色の設定をするときは、デュオをオンにしてから、音色メニューを表示してください。

操作方法:

[設定]ボタンを何度か押して音色メニューを選び、[^]/[v]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定	
移調	<p>鍵盤演奏音のキーを半音単位で移調します。ここでの設定により、弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さにキー(調)を合わせられます。たとえば、移調を「5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が鳴り、「ハ長調」の弾き方で「ヘ長調」の演奏ができます。</p> <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> ここでの設定は曲再生音には影響しません。曲再生音のキー(調)を変えるには、曲メニューの「移調」(9ページ)で設定してください。 オーディオ録音ではここで設定した音高で録音されます。MIDI録音では、ここでの設定から曲メニューの「移調」(9ページ)の値を差し引いた音高で録音されます。 鍵盤演奏の情報(ノートオン/オフ)をMIDI送信する場合、ノートナンバーは本来の値に移調値を加えた値で送信されます。ノートオン/オフをMIDI受信した場合は、受信したままのノートナンバーで発音します(移調されません)。 	-12 (-1オクターブ)~0 (標準)~+12 (+1オクターブ)	0	
ピアノ設定 <small>* VRM対応の音色のみに効果がかけられます。</small>	大屋根の開閉	グランドピアノの屋根の開き具合を変えたときの音の変化を再現します。	フル(全開)、 ハーフ(半開)、 クローズ(閉)	フル
	VRM	<p>VRMのオン/オフを設定します。</p> <p>■ VRM (Virtual Resonance Modeling/バーチャル・レゾナンス・モデリング)とは</p> <p>グランドピアノの共鳴音は、ダンパーペダルを踏んだときに、弾いた鍵盤の弦の振動がほかの弦や響板へ伝わることで生まれます。この複雑に影響し合う弦や響板などの状態をシミュレートし、それをリアルに再現することで、グランドピアノならではの響きを作り出す技術がVRM(バーチャル・レゾナンス・モデリング)です。鍵盤を押さえるタイミングやペダルを踏むタイミングと深さに応じて、より多彩な演奏表現が可能になります。</p> <p>VRMがオンのときは、必要に応じて以下も設定してください。</p>	On (オン)、 Off (オフ)	On
	ダンパーレゾナンス	ダンパーペダル(右のペダル)を踏んだときに加わる弦共鳴音のかかり具合を調節します。	0~10	5

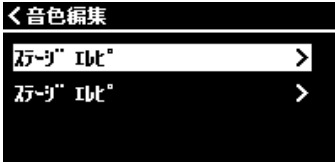
VRM対応の音色

「CFX グランド」、「ベーゼンドルファー」、「コンサートホール グランド」、「サステイン ピアノ」、「コンサート グランド」、「グランド ピアノ 1、2」、「アップライト ピアノ 1、2」、「ジャズ ピアノ」、「ホンキートンク ピアノ」、「モダン ピアノ 1、2」

操作方法:

[設定]ボタンを何度か押して音色メニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定
ピアノ設定 * VRM対応の音色 (3ページ)のみに効 果がかかります。	VRM ダンパーノイズ ダンパーノイズを鳴らす(オン)/鳴ら さない(オフ)を設定します。「ダン パーレゾナンス」の設定が0の場合は 効果はかかりません。 ■ ダンパーノイズとは アコースティックピアノでダンパーペ ダルを踏んだときに生じるノイズ音で す。ダンパーノイズは、ダンパーペダ ルを踏む速さによって、音色や音量が 異なります。ダンパーペダルをゆっく り踏むと、ダンパーヘッドが弦から離 れた際のノイズ音が小さく鳴ります。 ダンパーペダルを勢いよく踏むと、そ の振動が弦に伝わり、低い大きなノイ ズ音が混じります。	On (オン)、 Off (オフ)	On
	ストリング レゾナンス 鍵盤を押したときに加わる弦共鳴音の かかり具合を調節します。	0~10	5
	アリコート レゾナンス アリコートの響き具合を調節します。 ■ アリコートとは 他の弦と共振する、共鳴専用の弦のこ とをいいます。他の弦と共振すること で、倍音を響かせるので、豊かな響き が得られます。アリコートにはダン パーがなく消音されないのので、鍵盤か ら手を離しても、アリコートの響きが 残ります。	0~10	5
	ポディー レゾナンス ピアノ本体(響板や側板、フレームな ど)の響き具合を調節します。	0~10	5
グランドExp.	「グランド・エクスプレッション・モデリング」のタイプ を選びます。「ダイナミック」では、鍵盤を弾く強さや タッチ、鍵盤の離し方など弾き方に応じて、アコース ティックピアノのように音が微妙に変化します。「スタ ティック」では弾き方を変えても、音はさほど変化しま せん。 ■ グランド・エクスプレッション・モデリングとは アコースティックピアノでは、鍵盤を押してから離すま でのタッチを変えることにより、音を微妙に変化させる ことができます。たとえば、鍵盤を底までしっかり押せ ば、鍵盤が棚板(鍵盤下の板)に当たってコツンと鳴り、 その衝撃が弦に伝わって音がわずかに変化します。また、 音が消える寸前(ダンパーが弦に触れる瞬間)の音も、鍵 盤から指を離す速さにより微妙に変化します。このよう なタッチによる音の微妙な違いを再現する技術がグランド ・エクスプレッション・モデリングです。強めのタッ チでアクセントを付けたり、やわらかなタッチで輝かし い響きを付けたり、と多彩な音色を奏でることができます。 また、スタッカートで弾いたときには歯切れのいい音 を、ゆっくり指を離したときには長く余韻を残す音を 表現できます。	ダイナミック、 スタティック	ダイナミック

操作方法: [設定]ボタンを何度か押して音色メニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。			
項目	説明	設定範囲	初期設定
リバーブ	リバーブ(残響効果)のタイプを選びます。リバーブは、鍵盤演奏、曲再生音、外部から入力されたMIDIデータすべてに共通にかかります。 <ul style="list-style-type: none"> • Off: 効果なし • リサイタルホール: ピアノリサイタル向けの中規模ホールのクリアな響き • コンサートホール: オーケストラの公演が行なわれる大きなホールの華やかな響き • サロン: 室内楽に適した、宮廷内の広間の落ち着いた響き • ルーム: ホールよりも小さな空間(部屋)で弾いたような優しい響き • 大聖堂: 天井の高い石造りの大聖堂の荘厳な響き • クラブ: ライブハウスやジャズクラブのメリハリのある響き • プレート: 録音スタジオで使用される往年のリバーブ装置の明るい響き 	(左記)	(音色によって異なる)
コーラス	コーラスのタイプを選びます。コーラスは、鍵盤演奏、曲再生音、外部から入力されたMIDIデータすべてに共通にかかります。 <ul style="list-style-type: none"> • Off: 効果なし • コーラス: 豊かな広がりを加える効果 • セレステ: うねりと広がりを加える効果 • フランジャー: ジェット機の上昇、下降音のようなうねりを加える効果 	(左記)	(音色によって異なる)
音色編集	<p>選択中の音色に対し、以下の設定をすることで好みのサウンドに変えられます。デュオがオンの場合は、画面に右奏者の音色名(上段)と左奏者の音色名(下段)が表示されます。編集対象の音色を選んでから設定してください(両奏者で異なる音色は設定できません)。</p> 		
オクターブ	鍵盤演奏音の高さをオクターブ単位で上下にシフトします。	-2~0(シフトしない)~+2	(音色によって異なる)
音量	音色の音量を調節します。	0~127	
リバーブの深さ	現在選ばれているリバーブの深さ(かかり具合)を調節します。設定値が0の場合、効果はかかりません。 NOTE VRM対応の音色(3ページ)が複数パートに使用されている場合、予期しない音になることがあります。優先度の高いパートの設定が、全パートに適用されるためです。曲再生中は曲パートでの設定(優先順位: チャンネル1、チャンネル2...チャンネル16)、曲停止時は音色パートでの設定(優先順位: R、L)が使用されます。	0~127	
コーラスの深さ	現在選ばれているコーラスの深さ(かかり具合)を調節します。設定値が0の場合、効果はかかりません。 NOTE VRM対応の音色(3ページ)が複数パートに使用されている場合、予期しない音になることがあります。優先度の高いパートの設定が、全パートに適用されるためです。曲再生中は曲パートでの設定(優先順位: チャンネル1、チャンネル2...チャンネル16)、曲停止時は音色パートでの設定(優先順位: R、L)が使用されます。	0~127	

操作方法:

[設定]ボタンを何度か押して音色メニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定
音色編集	<p>音色にかけるエフェクト(効果)のタイプを選びます。リバーブやコーラスは全体の音にかかるのに対し、エフェクトは音色ごとに効果がかかります。VRM対応の音色(3ページ)ではエフェクトはかけられません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Off: 効果なし • ディレイLCR: 左、中央、右の3つの位置でかかるディレイ(音を遅らせる)効果 • ディレイLR: 左右2つの位置でかかるディレイ効果 • エコー: 「こだま」のようなディレイ効果 • クロスディレイ: 左右2つのディレイを交差してかけた効果 • シンフォニック: 豊かで奥行きのある響きを作る効果 • ロータリー: ロータリースピーカー(回転スピーカー)を使っているようなビブラート感が得られる効果 • トレモロ: 音量が周期的に変化する効果 • バイプローター: ビブラフォン特有のビブラート • オートパン: 音が左右、前後に揺れ動くような効果 • フェイザー: 位相を周期的に変化させ、音にうねりを持たせる効果 • オートワウ: ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させる効果 • ディストーション: 音をひずませる効果 	(左記)	(音色によって異なる)
	ロータリー SP	エフェクトに「ロータリー」を選んだときだけ設定できます。ロータリースピーカーエフェクトの回転スピードを設定します。	速い、遅い
	バイプローター	エフェクトに「バイプローター」を選んだときだけ設定できます。バイプローター効果をかける(オン)/かけない(オフ)を設定します。	On (オン)、 Off (オフ)
	-スピード	エフェクトに「バイプローター」を選んだときだけ設定できます。ビブラフォン独特のビブラート(音揺れ)のスピードを設定します。	1~10
	エフェクトの深さ	エフェクトのかかり具合を設定します。エフェクトによっては深さを設定できないものもあります。	1~127
	パン	選択中の音色の音が、左右のどのあたりから聞こえてくるようにするかを設定します。	L64 (左寄り)~ C (中央)~R63 (右寄り)
	ハーモニック コンテンツ	フィルターのレゾナンス値を上げることで、音に独特のクセを付けることができます。 NOTE 音色によっては、効果のかかり具合がわかりにくい、または効果がかららないものがあります。	-64~+63
	ブライトネス	選択中の音色の明るさを調節します。	-64~+63
	タッチセンス	鍵盤を弾いたときの強さに対する音量変化の幅/音量の出やすさを設定します。ハーブシコードやオルガンなどの音色は、鍵盤を弾いたときの強さによる音量変化がない楽器なので、初期設定は127(音量が一定音量)になっています。	0 (音量が出にくい)~64 (音量変化幅が最大)~ 127 (音量が出やすく一定音量)
	右ペダル	選択中の音色に対し、右、中央、または左のペダルの機能をそれぞれオン/オフします。たとえばデュオをオンにしたときに、右奏者の演奏にはペダル効果をかけたいが左奏者の演奏にはかけたくない場合などに活用します。	On (オン)、 Off (オフ)
	中ペダル		
	左ペダル		

操作方法: [設定]ボタンを何度か押して音色メニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。				
項目		説明	設定範囲	初期設定
ペダル割り当て	右ペダル	右、中央、左のペダルの機能をそれぞれ変更します。	(下記「ペダル機能一覧」参照)	サステイン(連続)
	中ペダル	NOTE 左ペダルの機能の初期設定は、音色が「ジャズオルガン 1」、「ジャズオルガン 2」、「ロックオルガン」のときはロータリースピード、「ビブラフォン」のときはパイプローターです。		ソステヌート
	左ペダル			ソフト
バランス * デュオがオンのときに表示されません。	音量 L - R	デュオがオンのときの左奏者と右奏者の音色の音量バランスを調整します。スライダーが右へ行くほど、右奏者の音色の音量が大きく、左奏者の音色の音量が小さくなります。	L+10~0~R+10	(音色によって異なる)

ペダル機能一覧

音色メニューの「ペダル割り当て」で、左ペダル、中ペダル、右ペダルに割り当てられる機能の一覧です。ペダルごとに割り当てられる機能が異なります。

機能	説明	割り当て可否 (○: 可、×: 不可)		
		左ペダル	中ペダル	右ペダル
サステイン(スイッチ)	ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音が長く響きます。	○	○	○
サステイン(連続)	ペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音が長く響きます。ペダルの踏み込み具合によって、音が響く長さが変わります(ハーフペダル対応)。	×	×	○
ソステヌート	ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても長く響きます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。	○	○	○
ソフト	ペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた鍵盤の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。	○	○	○
ピッチベンドアップ	音の高さを連続的に上げます。	×	×	○
ピッチベンドダウン	音の高さを連続的に下げます。	×	×	○
ロータリースピード	ペダルを踏むたびに、ジャズオルガンやロックオルガンのロータリースピーカーの回転速度の速い/遅いが切り替わります。	○	○	○
パイプローター	ペダルを踏むたびに、ビブラフォンのビブラートのオン/オフが切り替わります。	○	○	○

NOTE





- ストリングスやオルガンなどの持続音系の音色では、サステインやソステヌートを割り当てたペダルを踏むと、音が減衰せずに、持続して鳴り続けることがあります。
- システムメニューの「ペダル」>「再生/一時停止」(20ページ)で、[▶/■]ボタンの機能を割り当てたペダルは、ここで設定した機能が無効になります。




曲メニュー

曲メニューでは、曲再生に関するさまざまな設定や、曲データの修正ができます。曲を選択してから、操作を始めてください。MIDI曲選択中とオーディオ曲選択中では表示される項目が異なります。「(オーディオ)」とある項目はオーディオ曲が、「(MIDI)」とある項目はMIDI曲が選ばれているときのみ設定できます。「編集」は、内蔵曲や音色デモでは設定できません。

ご注意

「実行」は、現在選択されている曲データを修正する機能です。[>]ボタンを押すことで曲データが書き換わるので十分ご注意ください。

操作方法: [設定]ボタンを何度か押して曲メニューを選び、[^]/[v]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。				
項目		説明	設定範囲	初期設定
音量 (オーディオ)		オーディオ曲の音量を調節します。	0~127	100
リピート (オーディオ)		<p>曲のくり返し再生の方法を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Off: くり返ししません。選択中の曲が最後まで再生されると自動でストップします。 • 1曲: 選択中の曲だけをくり返し再生します。 • すべて: 選択中の曲が入っているフォルダー内の全曲を順番に連続再生します。 • ランダム: 選択中の曲が入っているフォルダー内の全曲をランダム(順不同)に連続再生します。 <p>Off以外を選ぶと、曲画面の右上にアイコン(1曲: 、すべて: 、ランダム: )が表示されます。</p>	Off (オフ)、 1曲、 すべて、 ランダム	Off
L / R (MIDI)	R	<p>選択中のMIDI曲の再生をパートごとに鳴らす(オン)/鳴らさない(オフ)を設定します。データがないパートは「--」と表示され設定できません。</p> <p>NOTE MIDI曲は、16のトラック(パート)から構成されていて、通常、「R」にトラック1、「L」にトラック2、「その他」にトラック3~16が割り当てられています。「その他」ではトラック3~16がまとめてオン/オフされます。</p>	On (オン)、 Off (オフ)	On
	L			
	その他			
リピート (MIDI)	A - B	<p>選択中のMIDI曲の一部(A点~B点)を、くり返し再生する機能(A-Bリピート)です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [▶/]ボタンを押して、曲の再生をスタートさせます。 2. くり返し再生の開始位置(A点)にしたいところで、[>]ボタンを押してA点を設定します。 3. くり返し再生の終了位置(B点)にしたいところで、[>]ボタンを押してB点を設定します。カウント音が入り、A点からB点までがくり返し再生されます。 <p>A-Bリピートを解除するには、設定画面で「リピート解除」を選んで[>]を押すか、ほかの曲を選びます。</p> <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • 曲の先頭をA点にするには、A点を指定してから曲の再生をスタートします。 • 曲の最後をB点にするには、曲を最後まで再生させます。ボタンを押すことなく自動的にB点が設定されます。 	On (オン)、 Off (オフ)	Off
	フレーズ	<p>フレーズマーク付きのMIDI曲が選ばれている場合のみ設定できます。「フレーズマーク」でフレーズ番号を指定し、「リピート」をオンにして曲をスタートすると、指定した番号のフレーズがくり返し再生されます。「リピート」がオフのときに曲を再生すると、この画面の「フレーズマーク」の番号が進むので、曲を聞きながら再生中のフレーズ番号を確認できます。「リピート」がオンのとき、曲画面の右上にアイコン()が表示されます。</p>	On (オン)、 Off (オフ)	Off

操作方法: [設定]ボタンを何度か押して曲メニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。				
項目		説明	設定範囲	初期設定
リピート (MIDI)	曲	<p>曲のくり返し再生の方法を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Off: くり返ししません。選択中の曲が最後まで再生されると自動でストップします。 • 1曲: 選択中の曲だけをくり返し再生します。 • すべて: 選択中の曲が入っているフォルダー内の全曲を順番に連続再生します。 • ランダム: 選択中の曲が入っているフォルダー内の全曲をランダム(順不同)に連続再生します。 <p>Off以外を選ぶと、曲画面の右上にアイコン(1曲: , すべて: , ランダム: )が表示されます。</p>	Off (オフ)、 1曲、 すべて、 ランダム	Off
音量 (MIDI)	曲 - 鍵盤	MIDI曲の再生音と鍵盤演奏音の音量バランスを調整します。	Song+64~0 ~Key+64	0
	曲 L - R	MIDI曲の再生音の右手パートと左手パートの音量バランスを調整します。	L+64~0~ R+64	0
移調		<p>鍵盤演奏の音の高さを変えずに、再生する曲だけを、半音単位で移調します。たとえば、移調量を「5」に設定すると、「ハ長調」の曲は「へ長調」で再生されます。</p> <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • オーディオ曲の移調を変更した場合、曲によっては音質が変わることがあります。 • 外部から入力されたオーディオ音声は移調されません。 • MIDI曲の演奏情報(ノートオン/オフ)をMIDI送信する場合、ノートナンバーは本来の値に移調値を加えた値で送信されます。ノートオン/オフをMIDI受信した場合は、受信したままのノートナンバーで発音します(移調されません)。 	-12 (-1オクターブ)~0 (標準ピッチ)~ +12 (+1オクターブ)	0
ファイル	削除	<p>楽器本体やUSBフラッシュメモリーに保存した曲の削除、コピー、移動などをします。詳しくは「曲ファイルを管理する」(10ページ)をご覧ください。</p>	-	-
	コピー (MIDI)			
	移動 (MIDI)			
	オーディオ変換 (MIDI)			
	名前の変更			
	一括削除			
編集 (MIDI)	クオンタイズ	<p>選択中のMIDI曲の、各音符の鳴るタイミングを設定します。たとえば、4拍子のフレーズを弾いて録音したとします。正確に弾いたつもりでも、タイミングが微妙に遅れたり早かったりする場合があります。クオンタイズは、そのようなタイミングの「ずれ」を補正してデータを書き直す機能です。詳しくは「クオンタイズ(タイミングを補正する)」(12ページ)をご覧ください。</p>	-	-
	トラック削除	<p>選択中のMIDI曲のデータを、1トラックずつ削除します。詳しくは「トラック削除(1トラックずつデータを削除する)」(13ページ)をご覧ください。</p>	-	-
	テンポ変更	<p>選択中のMIDI曲に記録されているテンポを現在のテンポに書き換えます。詳しくは「テンポ変更(テンポの設定値を変更する)」(13ページ)をご覧ください。</p>	-	-
	音色変更	<p>選択中のMIDI曲の音色を、トラックごとに現在選択されている音色に変更します。詳しくは「音色変更(トラックごとに音色を変更する)」(14ページ)をご覧ください。</p>	-	-

操作方法:
[設定]ボタンを何度か押して曲メニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定	
その他 (MIDI)	クイックプレイ	選択中のMIDI曲の冒頭に無音部分がある場合、クイックプレイをオンに設定することで、音のあるところからすぐに再生開始させることができます。アフタクト(弱起=小節の途中拍から曲が始まること)のMIDI曲を再生する場合に便利な設定です。	On (オン)、 Off (オフ)	On
	トラック試聴	選択中のMIDI曲の1トラックだけを再生できます。各トラックの中身を確認するのに便利です。トラック選択後に、「スタート」を選んだ状態で[>]ボタンを押している間だけ、選択したトラックが再生されます。実際の音が鳴るところからすぐに再生されます。	トラック1～ トラック16	トラック1
	再生トラック	選択中のMIDI曲のうち、この楽器で再生するトラックを設定します。「1&2」では、トラック1と2だけが再生され、3から16トラックは外部機器にMIDI送信されます。「すべて」では、トラック1から16すべてが再生されます。	すべて、 1&2	すべて

曲ファイルを管理する









曲メニューの「ファイル」項目では、不要な曲を削除したり、楽器に録音した曲をUSBフラッシュメモリーにコピーしたりするなど、「ユーザー」または「USB」カテゴリの曲ファイルを管理するための操作ができます。

曲の種類とファイル操作の制限

曲の種類によって、下記のとおりファイル操作に制限があります。曲の種類は、曲画面に表示されるカテゴリ名やアイコンで確認できます。



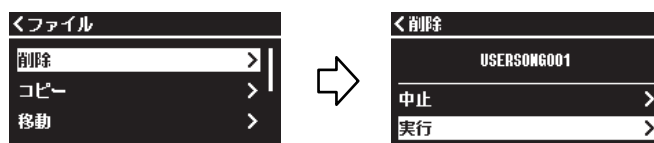
操作	説明	曲の種類			
		カテゴリ	ユーザー	USB	
		アイコン	MIDI 🎵	MIDI 🎵 オーディオ 🔊	
削除	選択中の曲を削除します。 NOTE 選択中の曲があるフォルダー内の曲をすべて削除することもできます(11ページ)。		○	○	○
コピー	選択中のMIDI曲を「ユーザー」または「USB」にコピー/移動します。		○	○	—
移動	楽器の「ユーザー」にあるMIDI曲は、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダーへのみコピーまたは移動ができます。USBフラッシュメモリー内のMIDI曲は、楽器の「ユーザー」へコピーまたは移動ができます。 		○	○	—
オーディオ変換	選択中のMIDI曲を再生しながらオーディオ曲に変換します。オーディオ録音と同じ状態のため、鍵盤を弾いたり、Bluetoothや[AUX IN]端子などから音声を入力したりすると、その音も一緒に録音されます。		○	○	—

操作	説明	曲の種類		
		カテゴリー	ユーザー	USB
		アイコン	MIDI 	MIDI 
名前の変更	選択中の曲の名前を変更します。詳しくは、「●「名前の変更」の場合:」(下記)をご覧ください。			
一括削除	選択中の曲があるフォルダー内の曲をすべて削除します。 「ユーザー」カテゴリーの曲を選択中の場合、「ユーザー」内の曲をすべて削除します。「USB」カテゴリーの曲を選択中の場合、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダーにある曲をすべて削除します。 NOTE USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダー内にフォルダーがある場合、そのフォルダー内の曲は削除されません。			

1. 必要に応じて、USBフラッシュメモリーをUSB [TO DEVICE]端子に接続します。
2. 操作対象となる曲を選びます。
3. 曲メニューの「ファイル」で操作項目を選びます。
4. 操作を実行します。

● 「削除」「コピー」「移動」「オーディオ変換」「一括削除」の場合:

4-1. [>]ボタンを押して操作画面を表示します。



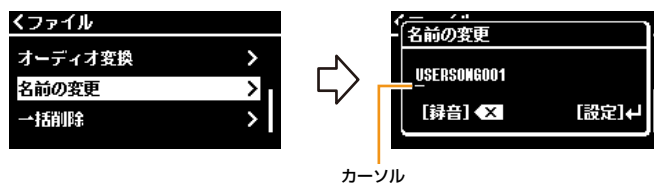
4-2. [V]ボタンを押して「実行」を選び、[>]ボタンを押して実行します。

ご注意

- 実行中は、電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データが失われる原因になります。
- 「コピー」や「移動」では、コピー先または移動先にすでに同じ名前の曲がある場合、上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、コピー先または移動先にあった同名の曲データは失われます。ご注意ください。

● 「名前の変更」の場合:

4-1. [>]ボタンを押して操作画面を表示します。



4-2. 曲名を変更します。

[<]/[>]ボタンを使ってカーソル(下線)を移動します。

[^]/[v]ボタンを使ってカーソルの位置の文字を変更します。文字を削除するには[録音]ボタンを押します。

曲名は最大46文字です。画面からはみだした文字は、[<]/[>]ボタンでカーソルを移動し、順次表示させることができます。

使用できる文字一覧:

0~9	A~Z	a~z	ア~ン	ア~オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	°	。	—									
[]	,	.	!	#	\$	%	&	'	()	+	,	-	;	=	@	[]	^
—	'	{	}	~	.															

4-3. [設定]ボタンを押して実行します。

ご注意

実行中は、電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。データが失われる原因になります。

MIDI曲を編集する

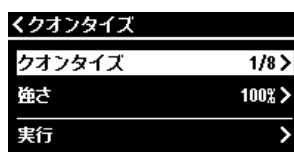
曲メニューの「編集」では、「ユーザー」または「USB」カテゴリーのMIDI曲のデータを変更して上書きできます。

クオンタイズ(タイミングを補正する)

MIDI曲の各音符の鳴るタイミングをそろえます。たとえば、下図のような4拍子のフレーズを弾いて録音したとします。正確に弾いたつもりでも、タイミングが微妙に遅れたり早かったりする場合があります。クオンタイズは、そのようなタイミングの「ずれ」を補正してデータを書き直す機能です。



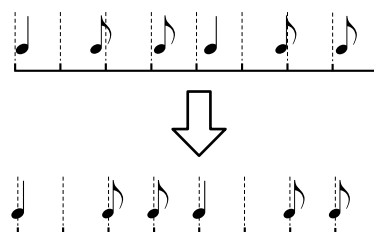
1. 編集したいMIDI曲を選びます。
2. 曲メニューの「編集」>「クオンタイズ」を選びます。
3. 「クオンタイズ」の値を、MIDI曲内の最も細かい音符に設定します。



設定値

1/4.....	4分音符
1/6.....	3連4分音符
1/8.....	8分音符
1/12.....	3連8分音符
1/16.....	16分音符
1/24.....	3連16分音符
1/32.....	32分音符
1/8+1/12....	8分音符+3連8分音符*
1/16+1/12...	16分音符+3連8分音符*
1/16+1/24...	16分音符+3連16分音符*

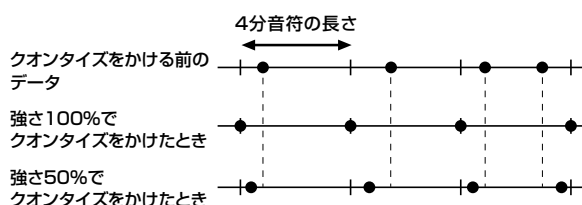
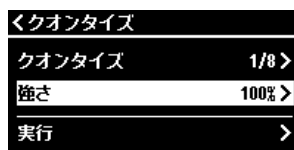
1/8(8分音符)に設定してクオンタイズした場合の例



[*] 印が付いた設定は、同時に異なる2つの音符のタイミングにクオンタイズできます。たとえば、8分音符と3連8分音符の両方のタイミングに録音されているトラックに「8分音符」を選択すると、そのトラックの全音符が8分音符でクオンタイズされてしまい、3連8分音符のタイミングの音がなくなってしまいます。しかし、「8分音符+3連8分音符」に設定すれば、8分音符と3連符の両方のタイミングの音をクオンタイズできます。

4. 「強さ」でクオンタイズをかける強さを設定します。

100%で正確なタイミングにデータが移動します。99%以下でクオンタイズをかければ、自然な拍のずれを残せます。



5. 「実行」を選んで[>]ボタンを押すことで編集を実行します。

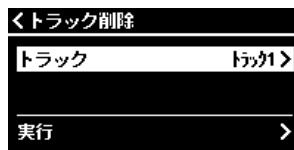
ご注意

[>]ボタンを押すことで、選択中のMIDI曲のデータが書き換わります。大切なデータが失われないよう十分ご注意ください。

トラック削除(1トラックずつデータを削除する)

選択中のMIDI曲のデータをトラックごとに削除します。

1. 編集したいMIDI曲を選びます。
2. 曲メニューの「編集」>「トラック削除」を選びます。
3. 「トラック」で削除対象のトラックを選びます。



トラック選択画面では、データが入っているトラックに「*」印が表示されます。トラックごとに記録されているデータを確認するには、曲メニューの「その他」>「トラック試聴」(10ページ)で対象のトラックを再生して聞いてみてください。

4. 「実行」を選んで[>]ボタンを押すことで編集を実行します。

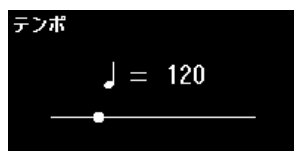
ご注意

[>]ボタンを押すことで、選択中のMIDI曲のデータが書き換わります。大切なデータが失われないよう十分ご注意ください。

テンポ変更(テンポの設定値を変更する)

選択中のMIDI曲に記録されているテンポ情報を書き換えます。

1. 編集したいMIDI曲を選びます。
2. [テンポ]ボタンを押してテンポ画面を表示させ、お好みのテンポに設定します。



3. 曲メニューの「編集」>「テンポ変更」を選びます。
4. 「実行」を選んで[>]ボタンを押すことで編集を実行します。

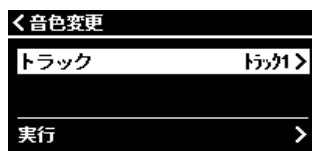
ご注意

[>]ボタンを押すことで、選択中のMIDI曲のデータが書き換わります。大切なデータが失われないよう十分ご注意ください。

音色変更(トラックごとに音色を変更する)

選択中のMIDI曲の音色をトラックごとに変更します。

1. 編集したいMIDI曲を選びます。
2. お好みの音色を選びます。
3. 曲メニューの「編集」>「音色変更」を選びます。
4. 音色を変更するトラックを選びます。



トラック選択画面では、データが入っているトラックに「*」印が表示されます。トラックごとに記録されているデータを確認するには、曲メニューの「その他」>「トラック試聴」([10ページ](#))で対象のトラックを再生して聞いてみてください。

5. 「実行」を選んで[>]ボタンを押して編集を実行します。

ご注意

[>]ボタンを押すことで、選択中のMIDI曲のデータが書き換わります。大切なデータが失われないよう十分ご注意ください。



メトロノーム/リズムメニュー

メトロノーム/リズムメニューでは、メトロノームの拍子やリズムの再生方法など、メトロノームやリズムに関する設定ができます。

操作方法:

[設定]ボタンを何度か押してメトロノーム/リズムメニューを選び、[^]/[v]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

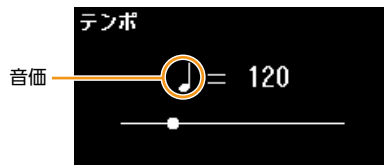
項目	説明	設定範囲	初期設定
音量	メトロノーム/リズムの音量を設定します。これにより、鍵盤演奏の音量とバランスをとります。	0~127	82
ベル	設定された拍子の1拍目で、メトロノームのベル音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	On (オン)、 Off (オフ)	Off
拍子	メトロノームの拍子を設定します。詳しくは「楽譜に合わせてメトロノームの拍子を設定する」(16ページ)をご覧ください。	2/2、3/2、 1/4、2/4、 3/4、4/4、 5/4、6/4、 7/4、3/8、 6/8、7/8、 9/8、12/8	4/4 (MIDI曲選択時は曲による)
BPM	テンポ画面に表示されるテンポの基準音価を、上記のメトロノームの拍子設定に連動させるか、拍子設定に関係なく4分音符基準にするかを設定します。「拍子に連動」を選択した場合、拍子設定の分母値が基準音価になります。(ただし、拍子が「6/8」「9/8」「12/8」に限り、付点4分音符が基準音価になります。)	拍子に連動、 4分音符	拍子に連動
イントロ	リズム再生開始時にイントロを再生する(オン)か、しない(オフ)かを設定します。 NOTE イントロをオンに設定した場合でも、曲再生中にリズム再生を開始した場合は、イントロは再生されません。	On (オン)、 Off (オフ)	On
エンディング	リズム再生終了時にエンディングを再生する(オン)か、しない(オフ)かを設定します。	On (オン)、 Off (オフ)	On
シンクロスタート	鍵盤を弾くと同時にリズムをスタートさせる(オン)か、させない(オフ)かを設定します。この機能をオンにして[リズム]ボタンを押すと、ボタンが点滅してシンクロスタート待機状態になります。この状態で鍵盤を弾くと、同時にリズム再生がスタートします。	On (オン)、 Off (オフ)	Off
ベース	リズムにベースの自動伴奏を付ける(オン)かつけないか(オフ)を設定します。	On (オン)、 Off (オフ)	On

楽譜に合わせてメトロノームの拍子を設定する

楽譜に合わせてメトロノームの拍子やテンポを設定してみましょう。「ベル」の設定をオンにすると、拍子に合わせて、ベル音が鳴ります。1拍目はチーンと鳴り、それ以外の拍はカチ、カチと鳴ります。



1. メトロノーム/リズムメニューで「拍子」を設定します。
2. [テンポ]ボタンを押してテンポ画面を表示させます。



3. [<]/>]ボタンを使ってテンポを設定します。

テンポ画面には「音価=テンポ値」の形式で表示されます。手順1で設定した拍子によって、音価と設定可能なテンポが以下のように異なります。

拍子	音価 (1拍の基準となる音の長さ)	テンポの設定範囲
2/2、3/2	♪ 2分音符	3~250
1/4、2/4、3/4、4/4、 5/4、6/4、7/4	♪ 4分音符	5~500
6/8、9/8、12/8	♪. 付点4分音符	4~332(偶数のみ)
3/8、7/8	♪ 8分音符	10~998(偶数のみ)、999

NOTE

- メトロノーム/リズムメニューの「BPM」の設定(15ページ)が「4分音符」の場合は、拍子の設定に関わらず音価は4分音符で表示されます。
- 曲を選ぶと、選んだ曲に設定されている拍子やテンポに切り替わります。

録音メニュー

録音メニューでは、MIDI録音時の詳細な条件を設定します。オーディオ録音には効果がありません。

操作方法:

[設定]ボタンを何度か押して録音メニューを選び、[^]/[V]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定
録音開始	既存のMIDI曲に上書き録音するときに、データの上書きが開始または停止するタイミングを指定します。詳しくは、「録音済みのMIDI曲を部分的に録音し直す」(下記)をご覧ください。	標準、押鍵	標準
録音終了		差し替え、パンチアウト	差し替え
リズム録音	MIDI録音するときに、リズム再生も録音する(オン)/しない(オフ)を設定します。オンにすると、トラック9~11にリズムが録音されます。	On (オン)、 Off (オフ)	On

録音済みのMIDI曲を部分的に録音し直す

録音済みのMIDI曲は、トラックごとに一部を録音し直すことができます。

トラックごとに記録されているデータを確認するには、曲メニューの「その他」>「トラック試聴」(10ページ)で対象のトラックを再生して聞いてみてください。

1. 録音メニューで録音開始と録音終了のしかたを設定します。

録音開始	標準	録音スタートと同時に上書き録音が始まります。
	押鍵	最初に鍵盤を弾いたときに上書き録音が始まります。曲再生スタート後、最初に鍵盤を弾くまでは元のデータが再生され、鍵盤を弾いたタイミング以降は上書き録音されます。
録音終了	差し替え	録音ストップ以降の元データを消します。
	パンチアウト	録音ストップ以降の元データは残ります。

● 設定ごとの録音データの構成

標準 / 差し替え	▼ 録音スタート (上書き開始)	▼ 録音ストップ	
	新データ	データなし	
標準 / パンチアウト	▼ 録音スタート (上書き開始)	▼ 録音ストップ	
	新データ	元データ	
押鍵 / 差し替え	▼ 録音スタート (元データ再生)	▼ 鍵盤を弾く (上書き開始)	▼ 録音ストップ
	元データ	新データ	データなし
	▼ 録音スタート (元データ再生)	▼ 鍵盤を弾く (上書き開始)	▼ 録音ストップ
押鍵 / パンチアウト	元データ	新データ	元データ

2. 録音し直すMIDI曲を選びます。

3. 録音開始をしたい場所を指定します。



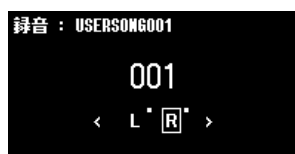
[<]/[>]ボタンを押して再生位置を移動するか、[▶/■]ボタンを押して曲を再生して、録音し直したい場所の手前でもう一度[▶/■]ボタンを押します。

必要に応じて、変更したい内容(音色やその他の設定)を選び直します。

4. [録音]ボタンを1秒以上押して録音データの保存先リストを表示させ、手順2で選んだ曲を選びます。



5. [<]/[>]ボタンで録音し直したいトラックを選びます。



6. 演奏を始める、または[▶/■]ボタンを押して、録音を開始します。

7. [録音]ボタンを押して、録音を終了します。

8. 保存確認の画面が表示されたら、「保存」を実行します。

保存したら、[▶/■]ボタンを押して録音した演奏を聞いてみましょう。



システムメニュー

システムメニューでは、楽器全体に関わる設定や、USBフラッシュメモリーのフォーマット、楽器設定のバックアップなどをします。

操作方法:

[設定]ボタンを何度か押してシステムメニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定	
Bluetooth	Bluetooth	Bluetooth機能のオン/オフを設定します。楽器とBluetooth対応機器をBluetoothで接続するには、双方のBluetooth機能がオンになっている必要があります。	On (オン)、 Off (オフ)	On
	ペアリング	Bluetooth対応のオーディオプレーヤーとペアリング(登録)をします。この項目はBluetoothがオンの場合のみ表示されます。 [>]ボタンを押すとペアリング待機状態になります。 [設定]ボタンを3秒押し続けたときと同じ状態です。 Bluetooth対応のオーディオプレーヤーとの接続方法について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。 NOTE 最大8台のBluetooth対応オーディオプレーヤーとペアリングできますが、同時に接続できるのは1台のみです。9台目の機器とのペアリングが成功すると、最も先に登録した機器の情報が削除されます。	—	—
チューニング	音の高さ	楽器全体の音の高さを微調整します。ほかの楽器との合奏やCDの再生に合わせて演奏するときなどに、それらのピッチ(音の高さ)と楽器本体のピッチを正確に合わせたい場合に使います。 NOTE この設定は、ドラムキットやオーディオ曲再生音には影響しません。また、MIDI録音されません。	(A3=) 414.8Hz ~466.8Hz (約0.2 Hz単位)	(A3=) 440.0Hz
	音律	現代のピアノはほとんどの場合、「平均律」と呼ばれる1オクターブを12等分した音律で調律(チューニング)されています。この楽器でも初期設定は「平均律」ですが、16~19世紀に使われていた音律を選んで、当時の響きを味わうことができます。 • 平均律: 1オクターブを12の間隔で等分した音律です。現在もっともポピュラーな音律です。 • 純正律「長調」、純正律「短調」: 自然倍音を基準とするため、主要3和音が美しく純粋に響くのが特徴です。現在でも合唱のハーモニーなどで見られます。 • ピタゴラス音律: ギリシャ時代の哲学者ピタゴラスによって考えられた5度音程だけの組み合わせからできた音律です。3度はうなりが生じますが4度と5度の音程が美しく、旋律の演奏に向いています。 • 中全音律: ピタゴラス音律の3度のうなりをなくすために改良された音律です。16世紀後半から18世紀後半までかけて広く普及し、ヘンデルも使用しました。 • ヴェルクマイスター、キルンベルガー: 中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた音律で、両者はその組み合わせ方が異なります。転調により曲想が変化するのが特徴です。バッハやベートーベン時代に使用され、現在でもその時代の音楽をハープシコード(=チェンバロ)などで演奏するときにしばしば用いられます。	平均律、 純正律「長調」、 純正律「短調」、 ピタゴラス音律、 中全音律、 ヴェルクマイスター、 キルンベルガー	平均律
	基音	[「平均律」以外の音律では、基音の設定が必要です。音律の基音(演奏する曲の調の主音)を設定します。	C、C#、D、 Eb、E、F、 F#、G、Ab、 A、Bb、B	C


操作方法:

[設定]ボタンを何度か押してシステムメニューを選び、[H]/[V]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定	
鍵盤	タッチ	鍵盤を弾く強さに対する音の強弱の付き方(タッチ感度)を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • ソフト2: 弱く弾いても大きな音が出ます。 • ソフト1: ソフト2とミディアムの中間です。 • ミディアム: 標準的なタッチです。 • ハード1: ハード2とミディアムの中間です。 • ハード2: 強く弾かないと大きな音が出ません。 • 固定: タッチによる強弱は付かず一定の音量が出ます。音量は下記「ベロシティー」で設定できます。 NOTE この設定は、MIDI録音されたりMIDIメッセージとして外部に送信されたりしません。	ソフト2、ソフト1、ミディアム、ハード1、ハード2、固定	ミディアム
	-ベロシティー	タッチを「固定」にした場合のベロシティー値(音量)を設定します。 NOTE この設定は、MIDI録音されたりMIDIメッセージとして外部に送信されたりしません。	1~127	64
	デュオ	オンにすると、鍵盤を2つの領域に分けて、2人同時に同じ音域で演奏できます。詳しくは、「2人同時に同じ音域で演奏する(デュオ)」(26ページ)をご覧ください。	On (オン)、Off (オフ)	Off
	-タイプ	デュオのとき、左右のスピーカーから鳴らす音のバランスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • セパレート: 左奏者の演奏音を左側のスピーカーから、右奏者の演奏音を右側のスピーカーから鳴らします。 • バランス: 両奏者の演奏音を両方のスピーカーから自然なバランスで鳴らします。 NOTE 「セパレート」では、VRM (3ページ)とリバーブ(5ページ)、バイノーラル(22ページ)はオフになります。	セパレート、バランス	セパレート
スプリットポイント	デュオをオンにしたときのスプリットポイント(鍵盤を左右に分ける境目)を設定します。スプリットポイントに当たる鍵盤は左奏者側に属します。	A-1~C7	E3	
ペダル	ハーフペダルの位置	右のペダルに「サステイン(連続)」(7ページ)が割り当てられている場合に、ペダルをどのくらい踏み込めばその効果がかかり始めるのかを設定します。	-2 (浅い位置で効く)~0~+4 (深い位置で効く)	0
	ソフトペダルの深さ	機能として「ソフト」(7ページ)が割り当てられたペダルにつき、そのかかり具合を設定します。	1~10	5
	ピッチバンドの範囲	右のペダルに「ピッチバンドアップ」または「ピッチバンドダウン」(7ページ)が割り当てられている場合に、ピッチ(音の高さ)を連続的に変化させる幅を、半音単位で設定します。 NOTE 一部の音色では、設定どおりに音の高さに変化しない場合があります。	0~+12(ペダルを踏むと12半音上がる/下がる)	2
	再生/一時停止	操作パネル上の[▶/]ボタンの機能を左または中央のペダルに割り当てられます。内蔵曲や録音した曲、この楽器で再生できるUSBフラッシュメモリー内の曲に有効です。ここで[▶/]ボタンの機能を割り当てたペダルは、音色メニューで設定した機能(7ページ)が無効になります。	Off (オフ)、左ペダル、中ペダル	Off


操作方法:

[設定]ボタンを何度か押してシステムメニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定	
音響	ブリリアンス	楽器全体の音の明るさ(ブリリアンス)を設定します。 ブリリアンスは、鍵盤演奏、曲再生音、外部から入力されたMIDIデータすべてに共通にかかります。 <ul style="list-style-type: none"> • メロウ1~3: 柔らかくまろやかな音になります。1、2、3の順で音の柔らかさが増します。 • 標準: 標準的な明るさです。 • ブライツ1~3: 明るい音になります。1、2、3の順で音の明るさが増します。 • ユーザー: オリジナルのEQを設定できる「ユーザー」画面が開きます。 <p>EQ(イコライザー)とは、音をいくつかの周波数帯域に分け、各帯域のレベル(ゲイン)を上げ下げして、音質を補正する機能です。この楽器ではロー/ミドル/ハイの3つの帯域のゲインを調節できます(設定範囲: -6 dB~0~+6 dB、初期設定: 0 dB)。</p> 	メロウ1~3、標準、ブライツ1~3、ユーザー	標準
	IAC	IACのオン/オフを切り替えます。IAC (Intelligent Acoustic Control/インテリジェント・アコースティック・コントロール)とは、楽器の全体音量の大小に応じて、自動的にスピーカーやヘッドホンの音質を補正する機能です。音量が小さい場合でも、低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。特にヘッドホン使用時には、全体音量を過度に上げることなく、耳への負担を抑えることができます。	On (オン)、Off (オフ)	On
	-深さ	IACの効果のかけ具合を設定します。値が大きいほど、音量が小さいときの低音や高音がよりしっかりと聞こえるように補正されます。	-3~+3	0

操作方法:

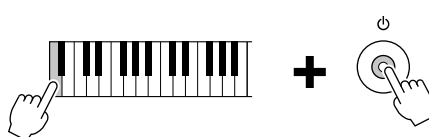
[設定]ボタンを何度か押してシステムメニューを選び、[H]/[V]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定
音響	<p>バイノーラル</p> <p>バイノーラルのオン/オフを切り替えます。オンの場合は、VRM対応の音色(3ページ)では、バイノーラルサンプリングまたはステレオフィニックオプティマイザーにより、ヘッドホン使用時でも臨場感のある音で演奏できます。選ばれている音色によって、バイノーラルサンプリングまたはステレオフィニックオプティマイザーの効果が自動で切り替わります。</p> <p>■ バイノーラルサンプリング (「CFX グランド」、「ベーゼンドルファー」の音色のみ)</p> <p>バイノーラルサンプリングとは、演奏者の耳と同じ位置に専用のマイクを備え付け、聞こえてくるピアノの音をそのままサンプリングする方式です。ヘッドホンを通して聞いても、あたかもピアノ本体から音が響いてくるような臨場感をお楽しみいただけます。対象の音色を選んでいるときにヘッドホンを接続すると、バイノーラルサンプリングの音に切り替わります。</p> <p>■ ステレオフィニックオプティマイザー (「CFX グランド」、「ベーゼンドルファー」以外のVRM対応の音色のみ)</p> <p>ヘッドホン使用時に自然な音の広がりを再現するエフェクトです。対象の音色を選んでいるときにヘッドホンを接続すると、ステレオフィニックオプティマイザーがかかります。</p> <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> システムメニューの「ユーティリティー」>「スピーカー」の設定(24ページ)がオンのときは、ヘッドホンを接続してもこの機能は無効です。 バイノーラルをオンにしてヘッドホンを接続すると、AUX OUT端子に接続した外部スピーカーから鳴る音や、オーディオ録音するときの音など、ヘッドホン以外で鳴る音にもこの効果がかかり、不自然に聞こえる場合があります。効果がかからないようにしたいときは、この機能をオフにしてください。 	On (オン)、 Off (オフ)	On
	<p>音量制限</p> <p>全体音量の最大値を制限する機能をオン/オフします。オンにすると、意図せず大きな音量が出るのを防ぐことができます。オンのとき、曲画面や音色画面の右下にアイコン()が表示されます。</p>	On (オン)、 Off (オフ)	Off
	<p>-制限ポイント</p> <p>音量制限をオンにしたときの最大音量を設定します。設定値は、[音量]スライダーの位置を表しています (MAX = 100%)。ここで設定した位置より上にスライダーを動かしても、音量は大きくなりません。</p>	10%~100%	50%

操作方法:

[設定]ボタンを何度か押してシステムメニューを選び、[^]/[V]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。

項目	説明	設定範囲	初期設定
MIDI	MIDI出力 楽器本体の鍵盤演奏を、USB [TO HOST]端子から外部機器へMIDI送信するときのチャンネルを設定します。デュオがオンの場合は、以下のチャンネルでMIDI送信します。 <ul style="list-style-type: none"> • 右奏者の演奏 = n (設定値) • 左奏者の演奏 = n+1 	チャンネル1～チャンネル16、Off (送信しない)	チャンネル1
	MIDI入力 USB [TO HOST]端子から受信したMIDIメッセージの各チャンネルにつき、楽器本体のどのパートの演奏をコントロールするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 曲: 曲パートをコントロールします。 • 鍵盤: デュオの設定に関係なく、鍵盤演奏をコントロールします。 • R: R(右)パートの鍵盤演奏をコントロールします。 • L: L(左)パートの鍵盤演奏をコントロールします。 • Off: コントロールしません。 	曲、鍵盤、R、L、Off (オフ)	(全チャンネル) 曲
	ローカルコントロール 通常、鍵盤を弾くと楽器本体の「音源部」から音が鳴ります。この状態を、ローカルコントロール=オンといいます。ローカルコントロールをオフにすると「鍵盤」と「音源」が切り離され、鍵盤を弾いても本体から音が出なくなります。ただし、鍵盤演奏の情報はMIDI送信されるので、本体では音を鳴らさずにMIDI接続した外部MIDI音源の音が鳴ります。	On (オン)、Off (オフ)	On
	受信パラメーター 外部から受信するMIDIメッセージにつき、その種類ごとに、受信する(オン)かしない(オフ)かを設定します。 MIDIメッセージの種類 : Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチベンド)、SysEx (システムエクスクルーシブ)	On (オン)、Off (オフ)	(全メッセージ) On
	送信パラメーター 楽器本体での演奏で発生するMIDIメッセージの種類ごとに、外部に送信する(オン)かしない(オフ)かを設定します。 MIDIメッセージの種類 : Note (ノート)、Control (コントロールチェンジ)、Program (プログラムチェンジ)、PitchBend (ピッチベンド)、SystemRealTime (システムリアルタイム)、SysEx (システムエクスクルーシブ)	On (オン)、Off (オフ)	(全メッセージ) On
	初期設定送信 接続した外部MIDI機器やコンピューターなどへ、音色選択など楽器本体の設定データを送信します。外部MIDI機器やコンピューターにMIDI録音する前にこの機能を実行しておけば、録音データの先頭に楽器の設定が記録され、あとで再生するときに録音時のサウンドが正確に再現されます。 [実行]を選んで[>]ボタンを押すと、楽器の設定が接続した機器へMIDI送信されます。	—	—

操作方法: [設定]ボタンを何度か押してシステムメニューを選び、[∧]/[∨]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。				
項目		説明	設定範囲	初期設定
バックアップ	バックアップ設定	電源を切っても、楽器の設定を保持するかどうかを設定します。詳しくは、「電源オフ時にも保持しておきたい設定を選ぶ(バックアップ設定)」(27ページ)をご覧ください。	On (オン)、 Off (オフ)	「音色」 = Off 「その他」 = On
	バックアップ	楽器に保存した曲データや楽器の設定をまとめてUSBフラッシュメモリーにバックアップファイル(拡張子: .bup)として保存します。詳しくは、「楽器に保存した曲データや楽器の設定をUSBフラッシュメモリーに保存する(バックアップ)」(27ページ)をご覧ください。	—	—
	リストア	USBフラッシュメモリーに保存しておいたバックアップファイル(拡張子: .bup)を楽器に取り込むことでその設定を楽器で復元します。詳しくは、「USBフラッシュメモリーに保存したバックアップファイルを楽器に取り込む(リストア)」(28ページ)をご覧ください。	—	—
	ファクトリーリセット	楽器の設定を工場出荷時の状態に戻します。詳しくは、「工場出荷時の設定に戻す(ファクトリーリセット/初期化)」(28ページ)をご覧ください。	—	—
ユーティリティー	スピーカー	<p>楽器本体のスピーカーを鳴らす(オン)/鳴らさない(オフ)を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準: [PHONES]端子にヘッドホンが接続されていないときだけスピーカーが鳴ります。 • On: 常にスピーカーが鳴ります。 • Off: スピーカーは鳴りません。 <p>NOTE この設定がオンのとき、バイノーラル(22ページ)は無効になります。</p>	標準、 On (オン)、 Off (オフ)	標準
	オーディオループバック	<p>コンピューターやスマートデバイスなどの外部機器から楽器へのオーディオ入力音を、楽器での演奏音と一緒に、外部機器に出力する(オン)/しない(オフ)を設定します。たとえば、コンピューターやスマートデバイスを使って、楽器での演奏音だけでなく楽器へ入力したオーディオ再生音も録音したい場合はオンに、楽器での演奏音だけを録音したい場合はオフにします。</p> <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本書での「オーディオ入力音」とは、USBオーディオインターフェース機能、Bluetoothオーディオ機能、[AUX IN]端子、Wi-Fiのいずれかの方法で接続した外部機器からこの楽器へ入力されるオーディオ再生音のことをいいます。 • [AUX IN]端子やBluetoothで接続した機器には出力されません。 • 楽器本体でオーディオ録音すると、この設定がオンのときは、外部機器からのオーディオ入力音も録音されますが、オフのときは録音されません。ただし、Bluetoothや[AUX IN]端子で接続している場合は、オーディオループバックのオン/オフ設定に関わらず、オーディオ入力音は常に録音されます。 	On (オン)、 Off (オフ)	On
	オートパワーオフ	<p>オートパワーオフ機能により自動で電源が切れるまでの時間を設定します。オートパワーオフ機能を解除するには、「Off」を選びます。</p> <p>左端の鍵盤を押したまま電源を入れることにより、オートパワーオフ機能を解除することもできます。</p>  <p>ご注意 オートパワーオフ機能により電源が切れると、保存していないデータは失われます。</p>	Off (オフ)、5、 10、15、30、 60、120 (分)	15

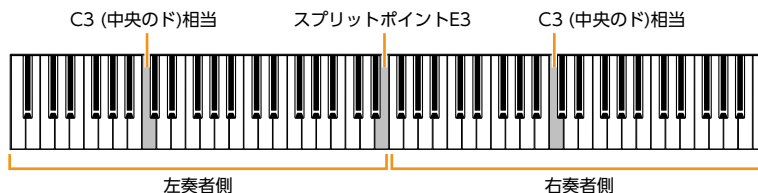
操作方法: [設定]ボタンを何度か押してシステムメニューを選び、[△]/[▽]/[<]/[>]ボタンを使って項目を選んだり、設定を変更したりします。					
項目		説明	設定範囲	初期設定	
ユーティリ ティ	USBプロパティ		USB [TO DEVICE]端子に接続されているUSBフラッシュメモリーの空き容量や全体容量を確認できます。 	—	—
	USB自動ロード		「オン」に設定することにより、USB [TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続すると同時に、USBフラッシュメモリーのルートにある(フォルダーに入っていない)曲を自動で呼び出せます。	On (オン)、 Off (オフ)	Off
	USBフォーマット		USB [TO DEVICE]端子に接続されているUSBフラッシュメモリーをフォーマット(初期化)します。「実行」を選んで[>]ボタンを押すとフォーマットが始まります。フォーマットが完了するとメッセージが表示され、数秒後にユーティリティ画面に戻ります。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> フォーマットを実行すると、USBフラッシュメモリーに保存されているデータがすべて消去されます。大切なデータはコンピューターなど、他の記憶装置に保存しておいてください。 実行中を示すメッセージの表示中は、電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを外したりしないでください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れるおそれがあります。 	—	—
	コントラスト		画面のコントラストを調整します。	-8~+8	0
	バージョン		この楽器のモデル名とファームウェアのバージョンを表示します。	—	—
	無線LAN * USB無線LANアダプターが接続されているときのみ表示されます。		無線LAN (Wi-Fi)の設定をします。詳しくは 29ページ をご覧ください。	—	—
	無線LAN オプション	無線LANモード	無線LAN接続に、アクセスポイントを使うか(インフラストラクチャーモード)使わないか(アクセスポイントモード)を設定します。	インフラストラクチャーモード、 アクセスポイントモード	インフラストラクチャーモード
初期化		無線LANの設定を初期化します。「実行」を選んで[>]ボタンを押すと、初期設定に戻ります。	—	—	
詳細		ネットワークのホスト名、MACアドレス、ステータス(状態)を表示します。ホスト名は変更できます。文字の入力方法は、曲ファイルの「名前の変更」(11ページ)と同じです。	(ホスト名) 英数字、[-]、[_] (最大57文字)	(ホスト名) SCLP-****- xxxxxx (MACアドレス下6桁)	

2人同時に同じ音域で演奏する(デュオ)

鍵盤を左右に分けて、2人同時に同じ音域で演奏できます。1人がお手本を弾いてもう1人がそれを見ながら練習する、といった使い方ができます。

1. システムメニューの「鍵盤」>「デュオ」で、デュオをオンにします。

スプリットポイント(E3)を境に、鍵盤が左奏者側と右奏者側に分かれます。スプリットポイントに当たる鍵盤は、左側に属します。



NOTE

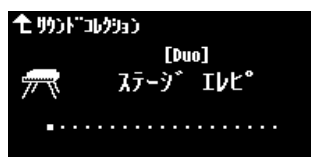
スプリットポイントは、システムメニューの「鍵盤」>「スプリットポイント」(20ページ)で変更できます。

ペダルの機能は次のように変わります。

- 右のペダル: 右奏者側のダンパーペダル
- 中央のペダル: 両奏者共通のダンパーペダル
- 左のペダル: 左奏者側のダンパーペダル

2. 必要に応じて、[戻る]ボタンを押して音色画面を表示させ、[ピアノコレクション]ボタン、[サウンドコレクション]ボタンや[^]/[V]/[<]/[>]ボタンを使って音色を選びます。

デュオがオンの間は音色画面に[Duo]と表示されます。両奏者が別の音色で弾くことはできません。



3. 鍵盤を弾いてみましょう。

初期設定では、左奏者側の音は左側のスピーカーから、右奏者側の音は右側のスピーカーから鳴ります。

NOTE

- システムメニューの「鍵盤」>「デュオタイプ」(20ページ)で「バランス」を選ぶと、両奏者の演奏音を両方のスピーカーから自然なバランスで鳴らせます。
- デュオをオンにすると、VRM (3ページ)の効果はかかりません。またシステムメニューの「鍵盤」>「デュオタイプ」(20ページ)が「セパレート」のときは、リバーブ(5ページ)やバイノーラル(22ページ)の効果もかかりません。

4. デュオをオフにするには、[CFX GRAND]ボタン、または[BÖSENDORFER]ボタンを押します。

NOTE

上記手順1の画面でデュオをオフにすることもできます。

電源オフ時にも保持しておきたい設定を選ぶ(バックアップ設定)

以下のデータや設定(バックアップデータ)は、楽器の電源を切っても消えることなく保持されています。これらのうち「バックアップ設定」に含まれる項目は、電源を切ったときに設定を保持する/しないを選べます。

バックアップデータ

- 「ユーザー」 カテゴリに保存したMIDI曲
- システムメニューのうち、以下の設定
 - 「Bluetooth」 > 「Bluetooth」 (19ページ)
 - 「鍵盤」 > 「デュオタイプ」 (20ページ)
 - 「ユーティリティ」 (24ページ)
 - 「バックアップ」 > 「バックアップ設定」 (下記)でOnに設定した項目

1. システムメニューの「バックアップ」 > 「バックアップ設定」を選びます。
2. 「音色」と「その他」、それぞれOn (保持する)/Off (保持しない)を選びます。



- 「音色」に含まれる項目:
 - 音色選択
 - 音色メニューの全項目(移調以外)
- 「その他」に含まれる項目:
 - 曲メニュー: リピート、音量(曲 - 鍵盤)、音量(オーディオ曲)、クイックプレイ、再生トラック
 - メトロノーム/リズムメニュー: 音量、BPM、ベル、イントロ、エンディング、ベース
 - システムメニュー: チューニング、鍵盤(デュオとデュオタイプを除く)、ペダル、音響、MIDI

3. 設定が終わったら[戻る]ボタンを押して画面を閉じます。

楽器に保存した曲データや楽器の設定をUSBフラッシュメモリーに保存する(バックアップ)

楽器の「ユーザー」に保存した曲データや楽器の設定をまとめてUSBフラッシュメモリーにバックアップファイル(拡張子: .bup)として保存できます。このファイルをあとでリストア機能(28ページ)により楽器に取り込むことで保存した設定を楽器に復元できます。バックアップファイルに含まれるデータは、上記の「バックアップデータ」をご確認ください。

ご注意

- すでに同じバックアップファイル(SCLP-****.bup)がUSBフラッシュメモリーに保存されている場合、ファイルは書き換えられます。
- 実行には1~2分の時間がかかります。実行中を示すメッセージの表示中は電源を切らないでください。データ損失の原因になります。

1. USBフラッシュメモリーをUSB [TO DEVICE]端子に接続します。
2. システムメニューの「バックアップ」 > 「バックアップ」を選びます。
3. 「実行」を選んで[>]ボタンを押すと、USBフラッシュメモリーにバックアップファイルの書き込みが始まります。完了するとその旨を知らせるメッセージが表示されます。

USBフラッシュメモリーに保存したバックアップファイルを楽器に取り込む (リストア)

USBフラッシュメモリーに保存しておいたバックアップファイル(拡張子: .bup)を楽器に取り込むことで、ユーザー曲や楽器の設定を復元できます。

ご注意

- リストアを実行すると、楽器内の「ユーザー」に保存された曲は消えてしまいます。大切なデータは曲メニューの「ファイル」>「移動」(9ページ)で、USBフラッシュメモリーに移動してください。
- 実行には1~2分の時間がかかります。実行中を示すメッセージの表示中は電源を切らないでください。データ損失の原因になります。

1. バックアップファイルが保存されているUSBフラッシュメモリーをUSB [TO DEVICE]端子に接続します。

2. システムメニューの「バックアップ」>「リストア」を選びます。

3. 「実行」を選んで[>]ボタンを押すと、データが楽器に取り込まれます。

完了するとその旨を知らせるメッセージが表示され、楽器が再起動されます。

工場出荷時の設定に戻す(ファクトリーリセット/初期化)

楽器の設定を工場出荷時の状態に戻します。「ユーザー」に保存したMIDI曲やBluetoothのペアリング情報は消去されません。

ご注意

実行中を示すメッセージの表示中は電源を切らないでください。データ損失の原因になります。

1. システムメニューの「バックアップ」>「ファクトリーリセット」を選びます。

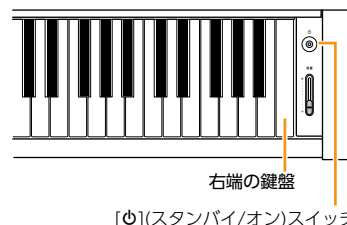
2. 「実行」を選んで[>]ボタンを押すと、初期化が実行されます。

完了するとその旨を知らせるメッセージが表示され、楽器が再起動されます。

ファクトリーリセットの別の方法

次のやり方でも同様に工場出荷時の設定に戻せます。

右端の鍵盤を押したまま、[⓪](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。



NOTE

「ユーザー」に保存したMIDI曲は、曲メニューの「ファイル」>「一括削除」で削除できます。詳しくは「曲ファイルを管理する」(10ページ)をご覧ください。

無線LAN(Wi-Fi)の設定をする

楽器とスマートデバイスを無線LAN (Wi-Fi)で接続するには、別売のUSB無線LANアダプター UD-WL01が必要です。

1. USB無線LANアダプター UD-WL01を楽器のUSB [TO DEVICE]端子に接続します。
2. システムメニューの「ユーティリティー」>「無線LANオプション」>「無線LANモード」で、接続モードを選びます。

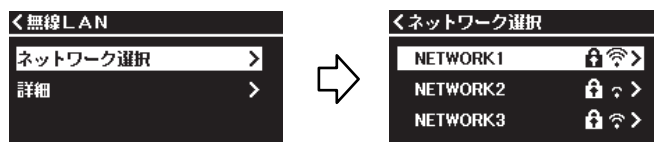
インフラストラクチャーモード	<p>アクセスポイントを経由して、USB無線LANアダプター (UD-WL01)とスマートデバイスを接続します。スマートデバイスとの接続中にほかのネットワークにも接続する場合に、この方法で接続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセスポイントがWPSに対応している場合: 楽器での設定が不要です。USB無線LANアダプターのWPSボタンを3秒以上押してから、2分以内に使用するアクセスポイントのWPSボタンを押してください。 <p>NOTE アクセスポイントの設定内容の確認や変更については、使用するアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセスポイントがWPSに対応していない(または対応しているかわからない)場合: 楽器に表示されるネットワーク一覧から接続先を選んで接続します。
アクセスポイントモード	<p>アクセスポイントを経由せずに、直接USB無線LANアダプターとスマートデバイスを接続します。接続できるアクセスポイントがない場合や、スマートデバイスとの接続中にほかのネットワークに接続する必要がない場合に、この方法で接続します。</p>

3. システムメニューの「ユーティリティー」>「無線LAN」で必要な設定をします。

インフラストラクチャーモード時とアクセスポイントモード時では表示される項目が異なります。インフラストラクチャーモードの場合は下記を、アクセスポイントモードの場合は30ページをご覧ください。

● インフラストラクチャーモードの場合:

「ネットワーク選択」を選び、表示されたネットワーク一覧から接続先を選びます。接続するネットワークが一覧にない場合は、一覧の最後にある「その他」を選びます。「その他」では、SSID、セキュリティー、パスワードの設定をして、「接続」を実行します。



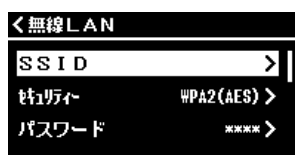
必要に応じて「無線LAN」の画面に戻って「詳細」の設定をします。設定が終わったら「保存」を選び、設定を保存します。

項目			説明	設定範囲	初期設定
ネットワーク 選択	(ネットワーク一覧)		ネットワーク一覧から接続先を選びます。鍵アイコン(🔒)が付いているネットワークは、パスワードの入力が必要です。文字の入力方法は、曲ファイルの「名前の変更」(11ページ)と同じです。	—	—
	その他	SSID	接続先ネットワークのSSIDを設定します。文字の入力方法は、曲ファイルの「名前の変更」(11ページ)と同じです。	英数字、記号(最大32文字)	—
		セキュリティー	接続先ネットワークのセキュリティー種別を設定します。	なし、WEP、WPA-PSK(AES)、WPA/WPA2 mixed PSK	なし

項目		説明	設定範囲	初期設定	
ネットワーク 選択	その他	パスワード	接続先ネットワークのパスワードを設定します。文字の入力方法は、曲ファイルの「名前の変更」(11ページ)と同じです。	英数字、記号(最大64文字)	—
		接続	「その他」画面で設定した内容で、ネットワークへ接続します。	—	—
詳細	DHCP		無線LANの詳細設定をします。DHCP以外の項目は、「DHCP」がオフのときのみ設定できます。 入力画面では、[<]/[>]ボタンでそれぞれのオクテットを選択し、[^]/[v]ボタンで値を設定します。入力を確定するときは[設定]ボタンを押します。	On (オン)、Off (オフ)	On
	IPアドレス			0.0.0.0～255.255.255.255	0.0.0.0
	サブネットマスク			0.0.0.0～255.255.255.255	0.0.0.0
	ゲートウェイ			0.0.0.0～255.255.255.255	0.0.0.0
	DNSサーバー、2			0.0.0.0～255.255.255.255	0.0.0.0
	保存		「詳細」画面で設定した内容を保存します。	—	—

● アクセスポイントモードの場合:

楽器をアクセスポイントとするための、SSID、セキュリティー、パスワード、チャンネルの設定をします。設定が終わったら「保存」を選び、設定を保存します。



項目	説明	設定範囲	初期設定
SSID	アクセスポイントとしてのSSIDを設定します。文字の入力方法は、曲ファイルの「名前の変更」(11ページ)と同じです。	英数字、記号(最大32文字)	ap-SCLP-****-xxxxxx (MACアドレス下6桁)
セキュリティー	アクセスポイントとしてのセキュリティー種別を設定します。	なし、WEP、WPA-PSK(AES)、WPA/WPA2 mixed PSK	なし
パスワード	アクセスポイントとしてのパスワードを設定します。文字の入力方法は、曲ファイルの「名前の変更」(11ページ)と同じです。	英数字、記号(最大64文字)	—
チャンネル	アクセスポイントとしてのチャンネルを設定します。	1～13	11
DHCPサーバー	IPアドレスに関連する項目を設定します。	On (オン)、Off (オフ)	On
IPアドレス		192固定、168固定、0～255.1～254	192.168.0.1
サブネットマスク		255.255.0.0、255.255.128.0、255.255.192.0、255.255.224.0、255.255.240.0、255.255.248.0、255.255.252.0、255.255.254.0、255.255.255.0	255.255.255.0
保存	無線LAN画面(アクセスポイントモード時)で設定した内容を保存します。	—	—

索引

B			
Bluetooth	19	
BPM	15	
I			
IAC	21	
M			
MIDI	23	
V			
VRM	3	
W			
Wi-Fi	29	
ア			
アリコートレゾナンス	4	
イ			
移調(音色)	3	
移調(曲)	9	
移動(曲)	10	
イントロ	15	
エ			
エフェクト	6	
エンディング	15	
オ			
オーディオ変換(MIDI曲)	10	
オーディオループバック	24	
オートパワーオフ	24	
大屋根	3	
オクターブ	5	
音色変更(MIDI曲)	14	
音色編集	5	
音色メニュー	3	
音量(オーディオ曲)	8	
音量(音色)	5	
音量(メトロノーム/リズム)	15	
音量制限	22	
音量バランス(MIDI曲)	9	
音量バランス(デュオ)	7	
キ			
曲メニュー	8	
ク			
クイックプレイ	10	
クオンタイズ(MIDI曲)	12	
グランド・エクスプレッション・モデリング	4	
コ			
コーラス	5	
コピー(曲)	10	
コントラスト	25	
サ			
再生/一時停止(ペダル)	20	
再生トラック	10	
削除(曲)	10, 11	
シ			
システムメニュー	19	
初期化(USBフラッシュメモリー)	25	
初期化(楽器)	28	
初期化(無線LAN)	25	
シンクロスタート	15	
ス			
ステレオフォニックオブティマイザー	22	
ストリングレゾナンス	4	
スピーカー	24	
スプリットポイント	20	
ソ			
ソフトペダル	20	
タ			
タッチ感度	6, 20	
タッチセンス	6	
ダンパーノイズ	4	
チ			
チューニング	19	
テ			
デュオ	20, 26	
テンポ	16	
テンポ変更(MIDI曲)	13	
ト			
トラックオン/オフ(MIDI曲)	8	
トラック削除(MIDI曲)	13	
トラック試聴	10	
ナ			
名前の変更(曲)	11	
ハ			
バージョン	25	
パートオン/オフ(MIDI曲)	8	
ハーフペダル	20	
ハーモニックコンテンツ	6	
バイノーラル	22	
バックアップ	27	
パン	6	
ヒ			
ピッチベンド	20	
拍子	16	
フ			
ファイル	10	
ファクトリーリセット	28	
フォーマット(USBフラッシュメモリー)	25	
ブライトネス	6	
プリリアンス	21	
ヘ			
ベース	15	
ペアリング	19	
ペダルオン/オフ	6	
ペダル割り当て	7	
ベル	15	
編集(MIDI曲)	9	
編集(音色)	5	
ホ			
ボディーレゾナンス	4	
ム			
無線LAN	29	
メ			
メトロノーム/リズムメニュー	15	
リ			
リストア	28	
リズム録音	17	
リバーブ	5	
リピート	8	
ロ			
録音メニュー	17	